

笑顔で楽しくスポーツ交流

第4回ふれ愛ピック

村内在住の障害を持つ方が、スポーツを通して自立・共生、健康と生きがいづくりを目指す「第4回ふれ愛ピック」は、11月7日に飯館中学校体育館にて開催されました。今大会へは、村内の障害を持つ約60人が参加。また、相農飯館分校生や更生保護女性会、民生児童委員など40人がボランティアスタッフとして運営をサポートしました。大会は、赤・青・黄の3チーム対抗で行われ、3本のペットボトルをピンに見立てて行うストーンボーリングや輪投げ、大玉転がしなど5種類の競技で点数を競い合いました。

競技終了後には、日赤奉仕団による手作りの豚汁がふるまわれ、参加者らは、交流を深めていました。



▲狙いをさだめて（ストーンボーリング）



▲3チーム対抗で行われた「ふれ愛ピック」

比叡ミニデイサービスの取り組みを研修

檜葉町介護保険運営協議会が来村



▲ミニデイの取り組みなどについて説明する菅野区長

10月27日、檜葉町介護保険運営協議会委員5人が比叡行政区を訪れ、同地区のミニデイサービスを研修しました。今回の研修は、年々増え続ける要介護認定者や、それに伴う介護保険料の値上がりを防ぐために、先進的に各行政区で実施している本村のミニデイサービスを研修しようとして行われたものです。

研修では、菅野啓一区長や地区住民から、平成12年度からの取り組み状況が説明された後、実際にミニデイサービスを視察。その後、昼食を囲みながら参加しているお年寄りたちの声を聞きました。檜葉町では、介護予防のためのミニデイサービスや教室は実施しているものの、行政区単位では行っていないとのこと。

研修を終えた檜葉町の委員らは、比叡行政区のミニデイサービスに感心した様子で、「わが町でも、このように各地区で取り組みたら」などと感想を話していました。



▲交流会のようす

東和町食生活改善推進員との交流会

10月19日、「いちばん館」において、安達郡東和町と飯館村の食生活改善推進員の交流会が行われました。

交流会では、お互いの活動状況が報告されたのに続き、活動してみたいの感想や思いなどを話し合いました。

東和町からは6人、飯館村からは3人と少ない参加者数でしたが、お互いの活動状況を具体的に話し合う事ができ、有意義な交流会となりました。